

SHIMIN PHOTO

市民フォト

鹿嶋

No.79
H12.1.1
発行





■ 田上上空から
写真中央を湾曲して通っているのは
県道永吉・入佐・
鹿児島線。写真手
前に見えるのが広
木小学校。右奥に
見えるのが田上小
学校。

わがまち自慢

● 広げよう、深めよう、広木の文化

校区の文化祭では、八つの町内会ごとに大人と子どもが交互に出し物を準備します。合唱、踊り、バンド演奏、吹奏楽など非常に多彩な内容で年々盛り上がりを見せています。

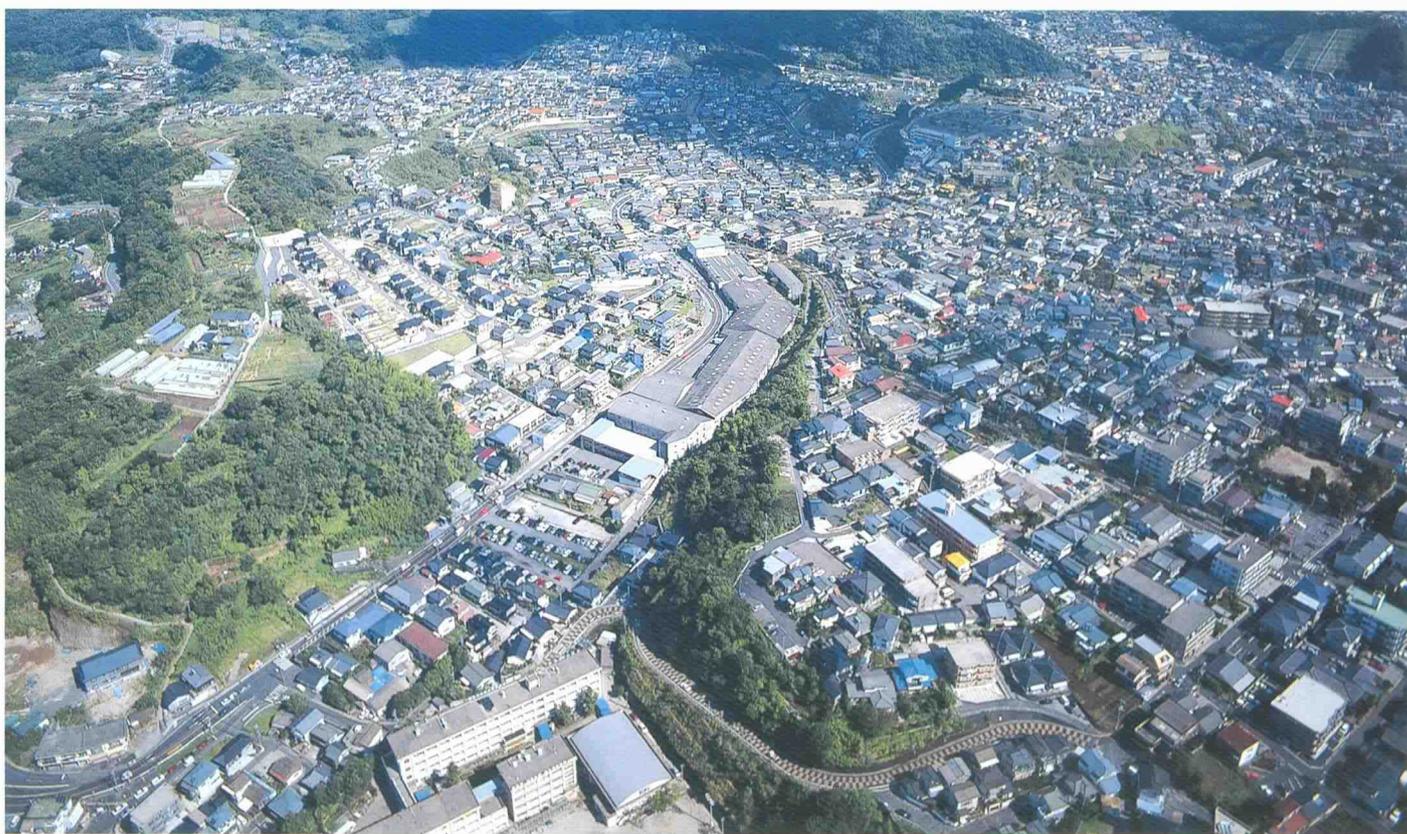
地域の人を知り、そして地域の元気が集まるときです。

● 楽しい交流

私は趣味でたくさんの花鉢を育てており、学校や地域の皆さんにもお分けしていますが、小学校の子どもたちから、たくさんのお礼のお手紙が届くんです。その中に「友だちになってください」とか「お返事ください」とか書いてあり、うれしくてたまりません。これからも、子どもたちのあたたかい心を地域で大事に育てていきたいですね。



広木校区公民館
運営審議委員長
古川 秀房さん



CONTENTS

- 3 「特集」二〇〇〇年・鹿児島
クロスアップ
茶園孝明さん
- 12 ハロー鹿児島
「エトモ・トッポンドルゴさん
- 14 カメラトピックス
- 16 学校探訪
皇徳寺中学校
- 18 わたしの好きな場所
中村明蔵さん
- 20 ふるさとの歴史探訪
上町の寺社と祭り
- 22 あなたのフォトサロン
今西啓介さん
- 24 よかタイム
戸高恵里さん
- 26 かごしまの自然
平川にて
- 27 市民ギャラリー
中央公民館
- 28 ふるさと考古歴史館
「赤彩軽石加工品」
- 30 誌上「市施設見学会」
鹿児島アリーナ
- 31

● 表紙写真について

冬の目差しが心地よいお昼休みの中央公園。たくさんの人たちが、思い思いの時を過ごしています。みんなに声を掛けて、記念写真を撮りました。初対面の人たちの集まり。こんなに素敵な雰囲気です。お互いに二〇〇〇年の同じ時を生きる私たちの姿です。

2000年鹿児島 輝き続けて

長い時を経ても変わらず光を放ち続けているもの。

また、瞬間的に力強く輝くもの。

さまざまな魅力があつまって

鹿児島の「今」がある。

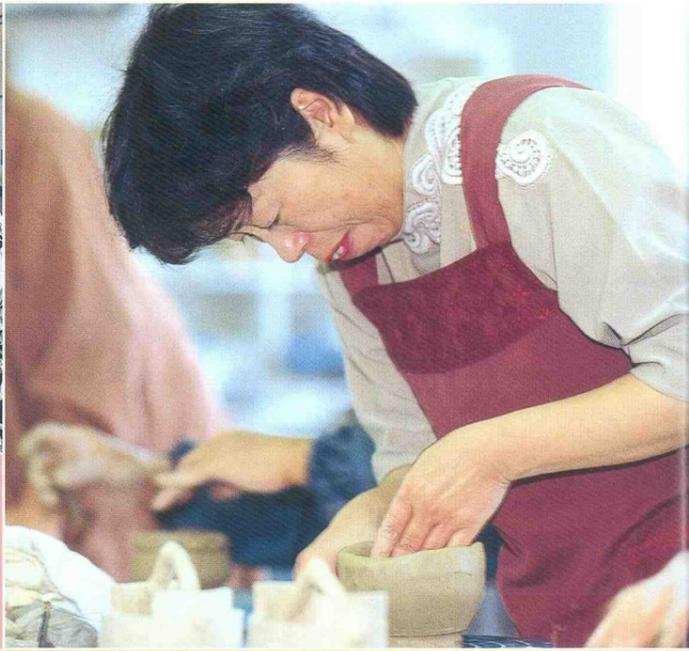
二〇〇〇年という記念すべき時を機に、

今に輝くエネルギーに迫ってみたい。

一人ひとりの表情こそが、まちの顔。



生涯学習 (武・田上公民館の自主学習グループ)
豊富な種類を誇る鹿児島市の講座。
さらに自主的に学ぶ意欲も旺盛です。
一番の楽しみは、仲間づくりの輪が広がっていくこと!

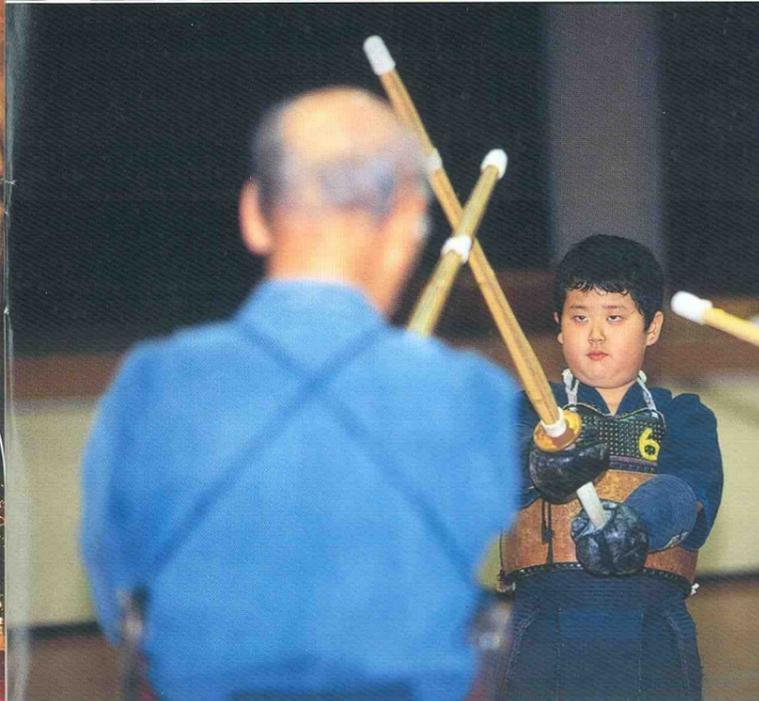


商店街 (名山町・山下町連合通り会)
イベントが盛んな鹿児島。
皆で知恵をしぼり、地域をもり立てる。
メンバー同士刺激しあう。
このパワーこそが、
お客さんへの最高のアピール!

一人ひとりの輝きこそが鹿児島の輝き。



ボランティア (福祉ふれあいフェスティバルにて)
鹿児島の人にはちよっぴりはすかしがりや。
けどとちよつと勇気をだすだけで、
こんな素敵な笑顔が生まれます。



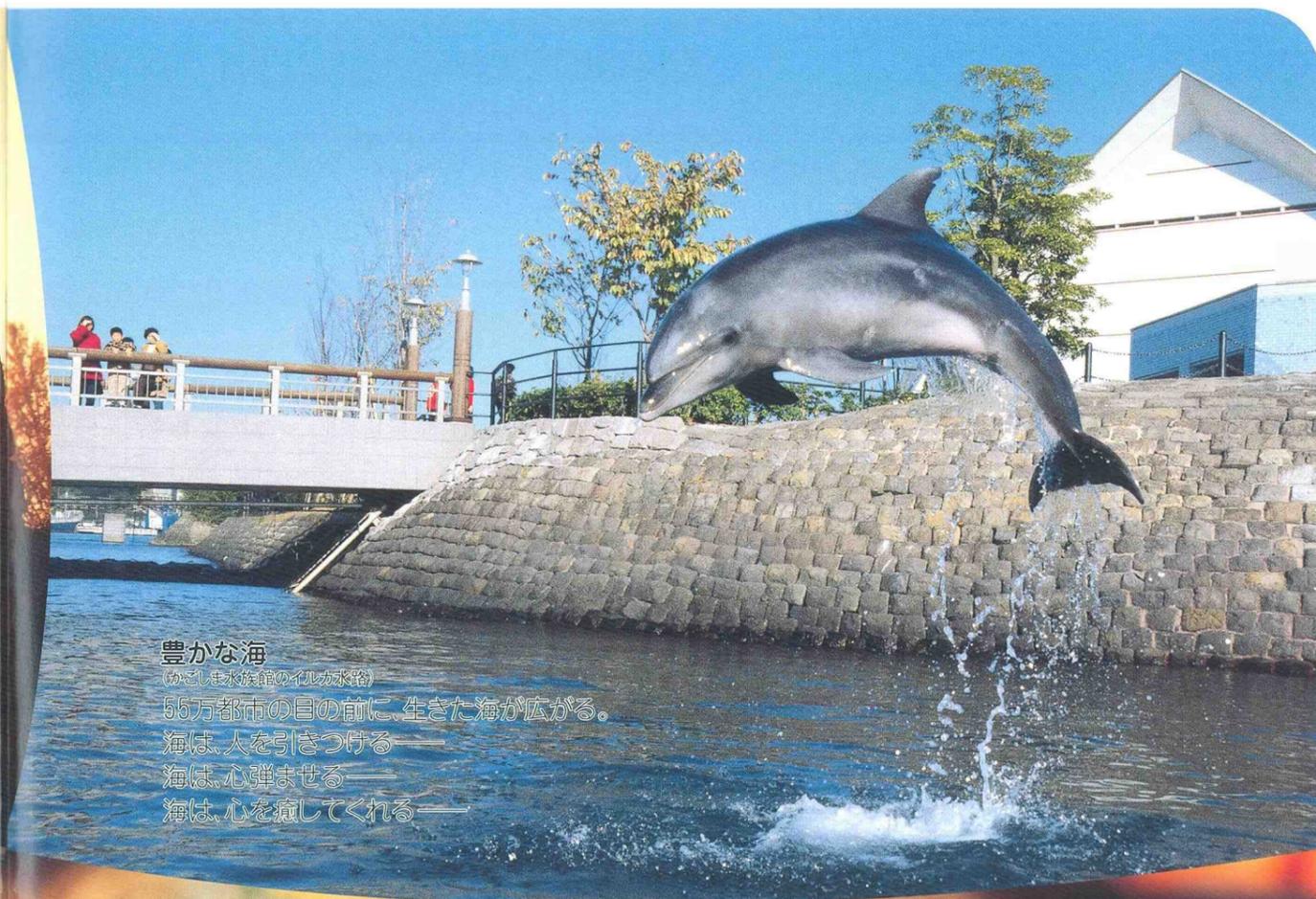
スポーツ少年団 (名山小学校)
地域の子どもは地域で育てる
鹿児島の伝統。
子どもたちのこの表情が、
大きな可能性を
感じさせてくれます。



語りかける歴史
（サビエラ記念）
あの時の地で燃え上がった情熱は、
私たちの心に熱く息づく……



心身にしみわたる温泉
（かごしま温泉健康プラザ）
温泉浴は壮快そのもの。
鹿児島ならではの最高のぜいたく！



豊かな海
（かごしま水族館のイルカ水浴）
55万都市の目の前に、生きた海が広がる。
海は、人を引きつける
海は、心弾ませる
海は、心を癒してくれる――



あたたかい母の味
鹿児島の料理は、
まわりでとれるものを生かした
素朴なもの。
忘れることのない
素朴な母の味は、あたたかい。



山崎裕子さん

・三友食品株式会社勤務
・勤労青少年ホームの自主グループ「チャレンジ」に所属。スポーツ活動をはじめ、おはら祭りなどイベントにも参加

まちも人もあたたかい

【山崎さん】

私は、勤労青少年ホームを通じてさまざまな活動に参加しています。この前、初めて「おはら祭」に参加してみました。想像以上に楽しく、鹿児島の一体感を感じて感動しました。また、市電をよく利用するんですけど、席を譲り合ったり、あたたかい雰囲気が大好きです。鹿児島は、「まちも人もあたたかい」感じがして、とても暮らしやすいと思います。

まちづくりは人づくり

【市長】

二人とも若いのに本当に鹿児島の素晴らしさ、鹿児島らしさというのを的確につかんでいるなど感じました。江夏さんが言われたように鹿児島は海と都市が直結しており、それは鹿児島のすばらしい財産です。鹿児島の歴史をひもといても、島津氏統治の昔から、鹿児島のまちというのは海とともに築えてきました。私は二十一世紀の鹿児島の姿、あるべき方向は、「海を生かしたまちづくり」が大きな柱であると思っています。また、山崎さんがおっしゃったとおり、南国鹿児島の人の心のあたたかさが鹿児島の一番の自慢だと思います。このような心を失わないように、いつまでも大切にしていきたいですね。まちづくりの基本は人づくりですから。



二〇〇〇年という大きな節目を機に、市長、そして二十歳という人生の大切な節目を迎える若者お二人にお話をお伺いしました。

◆市長、二〇〇〇年の節目にあたっての感想をお願いします。

二〇〇〇年は二十一世紀への橋渡しの年

【市長】

明けましておめでとうございます。二〇〇〇年という節目の年は、千年に一回巡ってくるすばらしい年だと思います。その新春を市民の皆さんとともに元気に迎えることができているにもうれしく思っております。また、私ども今を生きるものは、先



赤崎義則鹿児島市長

人たちが大変な努力をして今を築いてくれたことに心から感謝しなければなりません。今年は、二十世紀と二十一世紀のまさに橋渡しの年。総力をあげて鹿児島市の二十一世紀に向けた発展の基盤づくりの仕上げをしていきたいという気持ちです。

◆若者お二人は、日ごろ鹿児島市にどのような魅力を感じていますか。

鹿児島の海は最高

【江夏さん】

僕は、ウインドサーフィンをしています。僕が、こんなにすばらしい海が身近にあるというのは、他にはない一番の魅力だと思います。錦江湾で桜島を眺めながら、潮を肌で感じる気分は最高。海は穏やかで安心だし、この前イルカの群れに出会ったときは感動しました。鹿児島に住んでいてよかったなあと感じます。また、南国鹿児島の魅力は、鹿児島の人の「熱い情熱」だと思います。



江夏徳寿さん

・鹿児島大学医学部在学
・大学でウインドサーフィンのサークルに所属
・今年の新成人のつどい実行委員長

魅力ある医者を目指す

【江夏さん】

◆二十歳を迎えるお二人はどのような夢や希望を持っているのでしょうか。いろいろなことにチャレンジして、多くの人と交流して、考え方を学びたいと思います。医者を目指していますが、技術だけでなく、人間的に信頼される魅力ある医者になりたいです。

輝く私でいたい

【山崎さん】

これからも、できるだけ多くの機会に参加し、多くの人に会って、自分を

二〇〇〇年代の鹿児島市政を市民と一緒に

【市長】

お二人とも若者らしいチャレンジ精神がみなぎっているという気持ちがあります。二十一世紀はまさにお二人が主役の時代です。この二〇〇〇年というすばらしい年に成人になられた喜びと誇りをいつまでも持ち続け、今の純粋な心を失うことなく、いろんなことに挑戦していただきたいです。

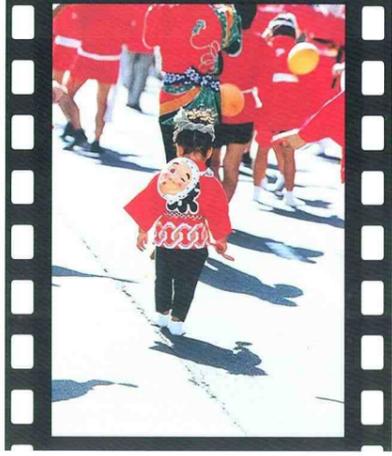
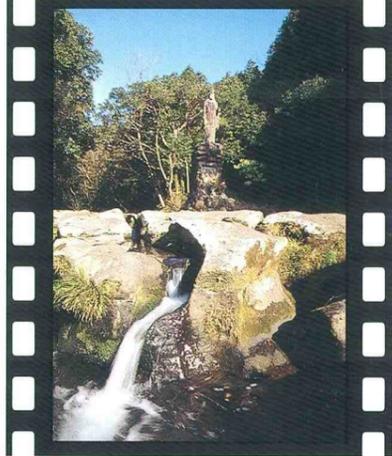
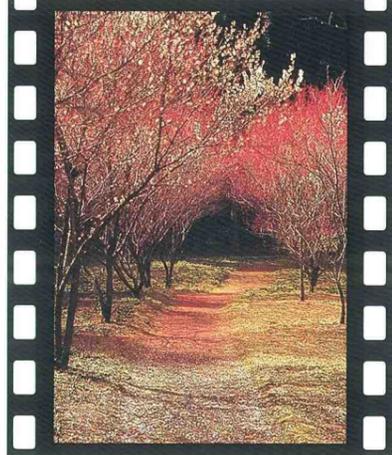
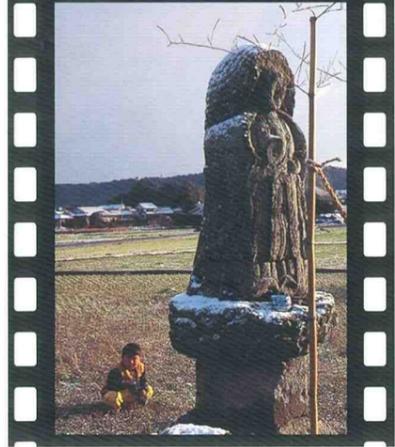
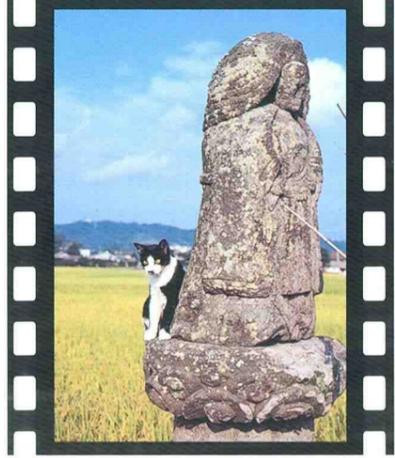
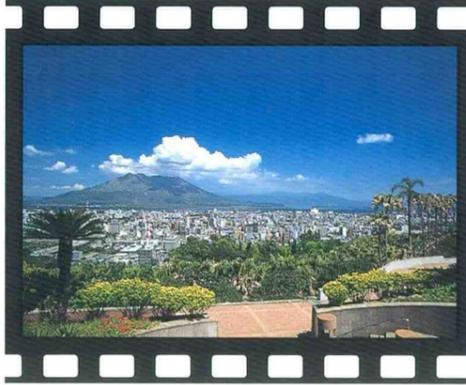
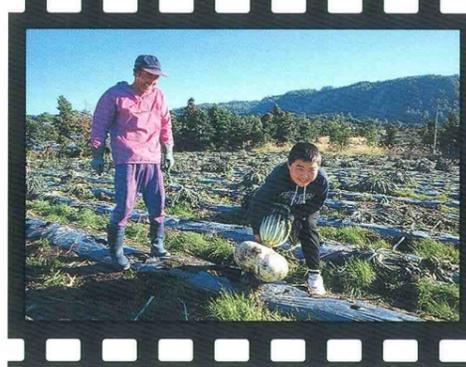
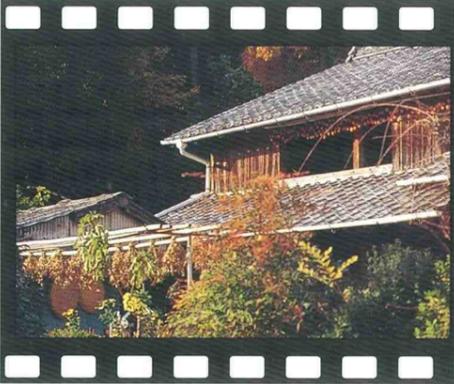
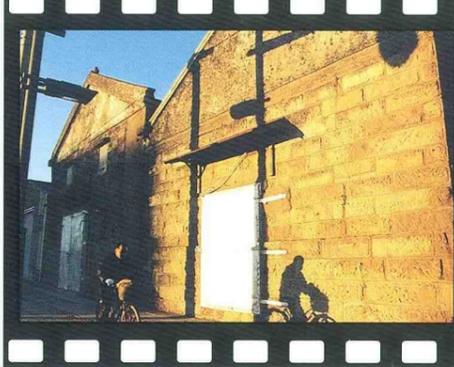
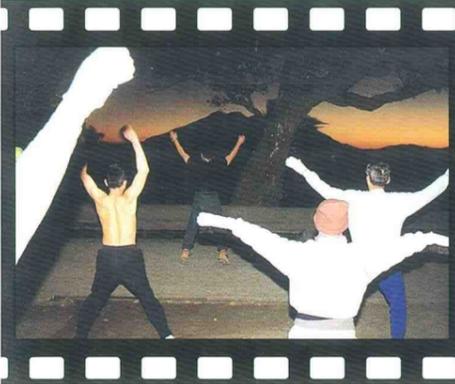
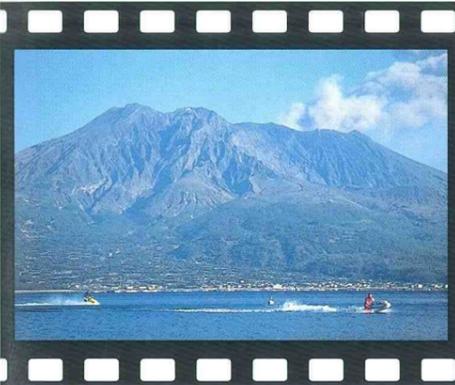
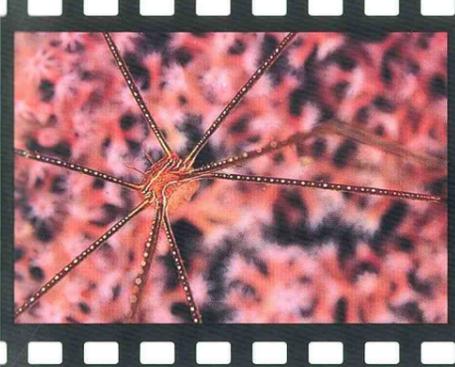
二〇〇〇年代の都市行政、鹿児島市政というのは、「市民と一緒に」あげていく市政でなければいけないと思います。市民の皆さんに積極的に考えていただき、その中から市政の課題あるいは進むべき方向を掘り起こしていただく、それを私どもが実行していく、そういう市政をつくりあげていきたいなあと思います。



市民の写真で綴る

きらめく
カゴシマ

撮影
・竹之内祐司さん・出羽 慎一さん
・中村 利徳さん・荷福 博司さん
・福吉 勝文さん

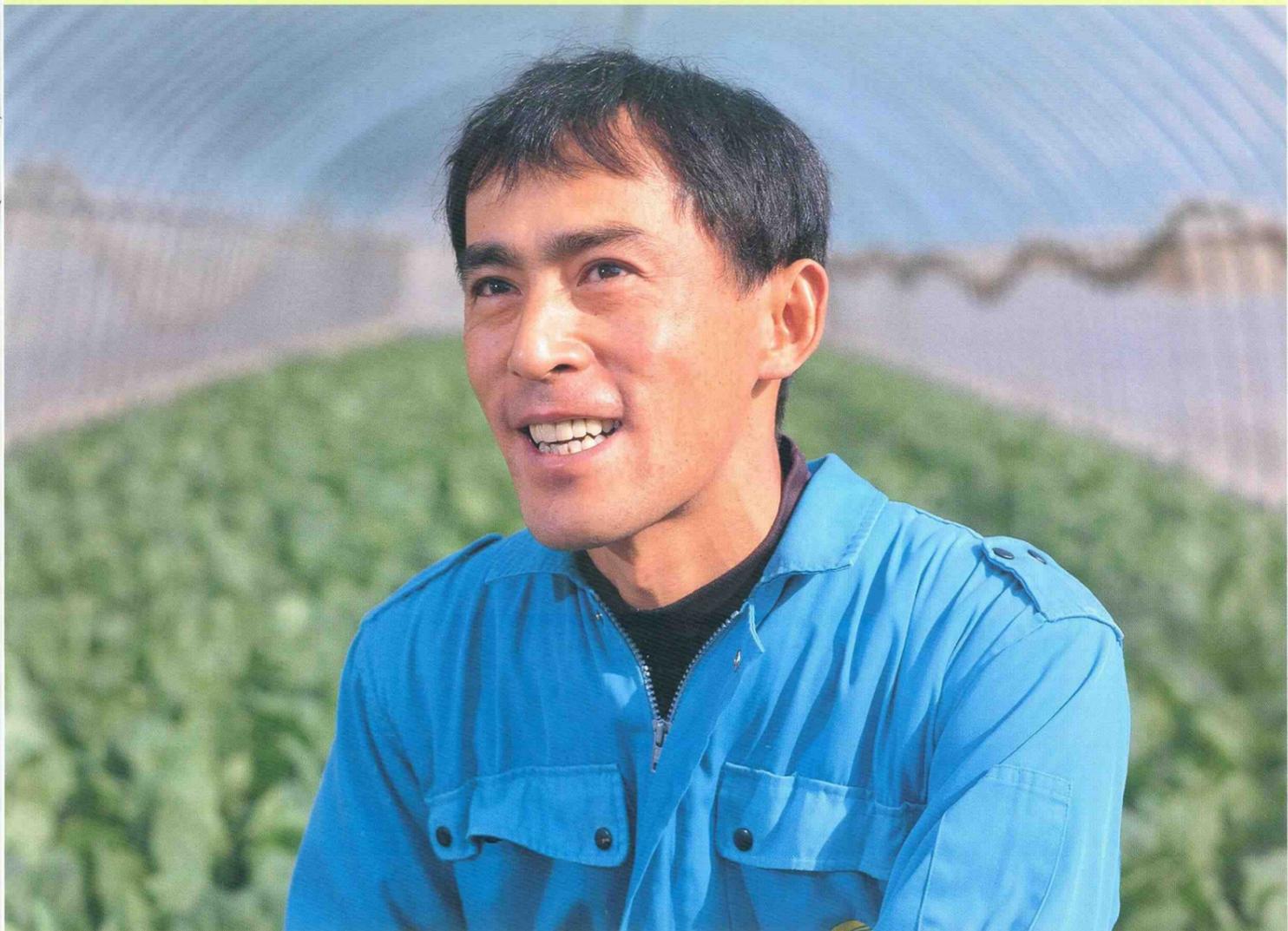


二〇〇〇年という
大きな節目を機に、今、
自らを、そして鹿児島を
あらためて
見つめなおしてみましよう。
歴史に学び、未来を夢見ながら、
共に輝くために...



出荷前の調整作業。一つ一つ丁寧にみる。

ふるさとへの愛情
それが最高のものをつくる



命を育てる

茶園孝明さん。ビニールハウスの畑でホウレンソウやコマツナを育てる。
農業をする前は、消防士として活躍していた。引き締まった体が昔を彷彿させる。でもなぜ農業に？

「やっただけ返ってくる。これがきっかけですね」自分が納得するまで手をかける。野菜はそれにこたえてくれる。
「まだまだ勉強中なんですけどね」と照れ笑い。小さいころから「命を育てる」ことに引きつけられた。「小さいものを大きく育てる」農業へのめり込み、職業にした。
「種をまいて芽が出た瞬間が一番うれしいです」その気持ちはずっと変わらない。

安全でおいしいものを届ける

毎日、奥さんの泉さん、両親と一緒に作業をする。息がびつたり四人。仕事はラジオを聞きながらマイペース。土の匂いと風が心地よい。
「いつも消費者に安全でおいしいものを届けたと思っています」
そのため管理は怠らない。ハウスハウスをじっくりと見て回り、それに合った対応をする。

野菜を見る茶園さんの目は真剣だが、どこか温かい。一つ一つに「いいものになれよ」そう念じているようにも見える。

若いパワー

農業青年クラブの会長という一面も持つ茶園



茶園 孝明さん

鹿児島市農業青年クラブ会長

PROFILE

- 昭和36年 鹿児島市に生まれる
- 昭和55年 市消防局に勤務
- 昭和61年 農業に転職
- 平成3年 鹿児島市農業青年クラブに入会
- 平成10年 鹿児島市農業青年クラブの会長に

さん。「年齢が上なので順番で会長になったんですよ」と謙そん。

クラブは二十代から四十代までの約四十人が集まり、情報交換や研修会など意欲的に活動している。またスポーツ交流会などを行い、家族ぐるみで仲良くなる。

「農業をする人は、みんなが社長でライバルなんですよね。それぞれが経営者で…。そんな閉鎖的などころをこのクラブから変えていきたいです」穏やかな口調の中にも熱が込められる。

常に新しい技術を取り入れ、機械化・マニュアル化している今の農業。若い人にもっと農業はやりやすくなる。

最近サラリーマンの人が農業を始めたという話をよく聞く茶園さん。

「大賛成です。本当に好きだったら、成功すると思います。それは農業に限らず、全てに言えることですよね」

茶園さんのその言葉で、「農業って入りにくいのでは…」という思いが吹き飛んだ。

ふるさとのために

町内会の活動にも積極的に参加する。

「そういうのに出るのが好きなんですよ」地元を愛する気持ちは強い。

農業をするだけなら、この町でなくてもいい。でも、生まれ育ったこの町のために自分のできることを通して貢献する。

時代を担う子どもたちにも、ふるさとへの愛情を持ってもらいたい…。

茶園さんの瞳はきらきらと輝いていた。

■私、受験生の母親なんです
 モンゴルからやってきて二年と九カ月。鹿児島大学の留学生であるデミドマーさんは、二児の母親でもある。そんな彼女の目下の悩みは、長女の高校受験。「モングルの都市部では、十年間の小・中・高校一貫教育が一般的」。だから、「高校受験なんて考えてもいなかった」。

■よく学び、よく遊ぶ
 じゃ、日本の子どもたちは大変なのかな。「モンゴルには塾がありません。その代わり宿題が多く出されます。宿題を忘れると、先生に叱られます」。

■鹿児島の冬はラッキー
 モンゴルの冬といえば、凍てつくような厳しさ。「完全防備で外出しますが、どうしても覆うことができない目だけは外気に触れてしまいます。すると、まっげが白く凍ってしまいます」。

■トンカツにみそ汁が大好き
 好き嫌いといえば、「鹿児島島の夏の蒸し暑さ。ただ暑いだけなら我慢できますが、湿度が高いのはダメですね。でも、これ

■家族で過ごすお正月
 「モンゴルにはお正月が二つあります。一つは西暦のお正月。一月一日の午前0時に家族で新年を祝います」。

■「今年のお正月は、家族四人鹿児島で過ごします。にぎやかな旧正月もいいですが、たまには静かなお正月もいいですね」。

があるから春夏秋冬、季節の変化が楽しめるのかもしれないね」。

ハロー Hello Kagoshima 鹿児島

●デミドマー・トゥフデンドルジュさん (モンゴル国)



シン
 オヌ
 メンドウ
 *モンゴル文字で「あけましておめでとう」
 *「あけましておめでとう」
 *「あけましておめでとう」

もっと知りたい あの国この国 モンゴル国

モンゴル
 =勇猛な人、勇敢な人の意

蒙古斑に縦書き文字、モンゴルには、なじみの深いものばかり

【あらまし】平均海拔約1600mの高原国で、北はロシア、南は中国に接している。面積は約156万6500平方キロで日本の約4倍。人口は約240万人。

【言語・文字】モンゴル語を話す。17世紀半ばまでは漢字を使っていたが、その後、独自のモンゴル文字を使うようになる。モンゴル文字は左から縦に書き、古くは筆を使った。20世紀になると、旧ソ連の影響でロシア文字を使う。10年ほど前に

モンゴル文字が復活。

【食】モンゴルといえば、ジンギスカンなべを連想するが、これは日本人の食べ方。モンゴル人の焼き肉はもっと豪快で、羊ややぎを一頭準備し、内臓、肉、骨をくり抜いて、空いたところに肉や野菜を入れ、さらに焼けた石を入れるもの。いわゆる石焼き焼き肉。ただし、こんなことはいつでも、どこでもできるわけではなく、鹿児島の人々が慶事などで鶏を一羽丸ごと料理するのと同じ。普通はパンにチーズ、肉や野菜たっぷりのスープなど。



【子どもの遊び】小さいうちはかくれんぼやなわとび、大きくなるとバスケットボールなどが盛ん。最近ではテレビゲームに夢中になる子ども。



専門血液学。実験中は真剣そのもの。

こんにちはモンゴル語 ~日本人にも発音しやすい~

- こんにちは
 < Сайн байна уу >
 サイン バイヌ
- おいしい < Амттай > アムツタイ
- あけましておめでとうございます
 < Шинэ Оны мэнд >
 シン オヌー メンドウ
- ありがとう < Баярлалаа >
 バヤルラー
- 好き < Дуртай > ドウルタイ
- おいしい < Амттай > アムツタイ
- あけましておめでとうございます
 < Шинэ Оны мэнд >
 シン オヌー メンドウ

※学校教育ではモンゴル文字を教えるようになったが、一般的には、まだロシア文字の方が理解されやすいとのこと。



10月31日 第3回おさかな市

市魚類市場で、魚のつかみ取りや市価より安い魚介類の販売など多彩な催しが行われました。



11月2・3日 第48回おはら祭

約260の踊り連、約2万2千600人の参加のもと盛大に開催されました。



11月14日 第8回福祉ふれあいフェスティバル

障害者との交流や介護用品の展示など盛りだくさんのイベントに、家族連れなど多くの方が訪れました。



11月21日 第3回農業まつり

緑豊かな都市農業センターで、新鮮な農産物の即売会や市内産の野菜を使った豚汁の試食、ガーデニング相談会などが行われ、家族みんなで楽しんでいました。



11月14日 心身障害児・者のためのチャリティー「'99セ・リーグオールスター東西対抗試合」

秋晴れのもと、県立鴨池球場に3万人を超える大観衆が詰めかけました。鹿児島出身の中日・福留選手や井上選手をはじめスター選手が集う試合とあって、熱い声援で盛り上がりました。



10月1日 市立高等看護学校戴帽式

4月に入学して半年間の基礎教育を終えた未来の看護婦たちが、初めてナースキャップをかぶり決意を新たにしていました。



10月7日～11月29日 かごしま近代文学館「向田邦子の魅力展」

鹿児島ゆかりの直木賞作家、向田邦子さん（1929～1981年）の生誕70周年を記念して、書簡や洋服、直筆原稿や写真など、遺品約450点が展示されました。



9月21日 台湾地震へ消防局国際消防救助隊員を派遣

台湾で発生した地震の被災者救助のため、市消防局は、国際消防救助隊員2人を派遣しました。



10月下旬 コスモス(都市農業センター)



10月9日 ザビエル上陸450周年記念国際シンポジウム

「世界の中の鹿児島 鹿児島の中の世界」をテーマに、ドナルド・キーン氏（コロンビア大学名誉教授）をはじめ7人の講師が、ザビエル来航の歴史的・文化的な意義や21世紀の鹿児島について語りました。



10月29～31日 第22回日本文化デザイン会議'99鹿児島

会議のテーマは「動く」。文学、哲学、建築、デザイン、映像、評論などさまざまなジャンルの第一線で活躍する講師陣約100人が来鹿し、多彩な催しが行われました。今年の日本文化デザイン大賞は、映画監督の北野武さんが受賞しました。



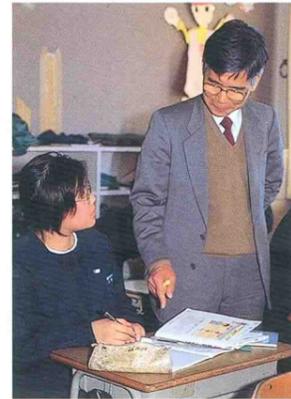
▲皇徳寺ニュータウンの名物・ブルーベリーロードを力走する駅伝大会



▲落ち着いた美しい学校



ふきぬけのある図書室▶



▲「よく書けているね。」



▲実験の結果は？



皇徳寺中学校

- 創立 平成2年
- 生徒数 1,101人
(平成11年12月1日現在)



▲インタビューに協力してくれた坂口さん、坂野さん(後列)久保さん、米森さん(前列)

- 皇徳寺中の自慢は何ですか？
- 校舎です。特に曲線が美しいと思います。
- 市内で最も生徒数が多い学校であること。
- 部活動がとても盛んなところです。

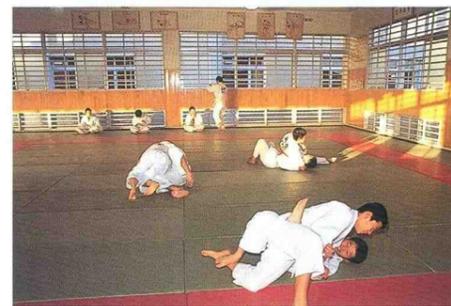
皇徳寺中新・旧生徒会役員にインタビュー

皇徳寺中のどこが好きですか？
 ・雰囲気が明るくて活気があるところ。
 ・尊敬できる先生がいます。
 ・図書室です。ふきぬけになっていて広いし、本の数が多いんですよ。
 ・私が好きなのは中庭です。木の感じがいいしベンチがあつてみんなのいい場所です。

学校生活で印象的な出来事は？
 ・体育大会での応援合戦。全校生徒が参加してすごく盛り上がり、一体感がありました。
 ・文化祭でのモザイクアートです。前生徒会が中心になって全員が協力しました。大きくて印象的でした。
 ・文化祭でのハンドベルの演奏です。とても感動しました。
 ・生徒会で経験した一つひとつの行事です。裏方として全部ががんばったから全部大切な思い出です。
 創立十周年を迎えた皇徳寺中学校。
 今年、また新たな第一歩を踏み出します。



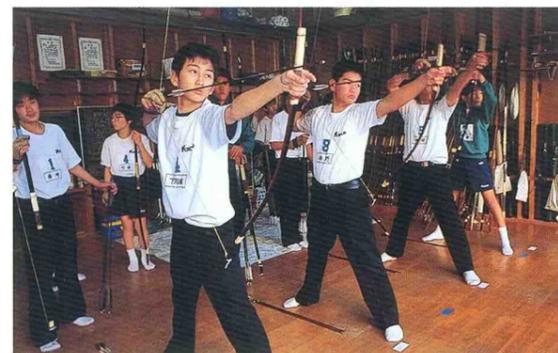
▲文化祭で披露したモザイクアート



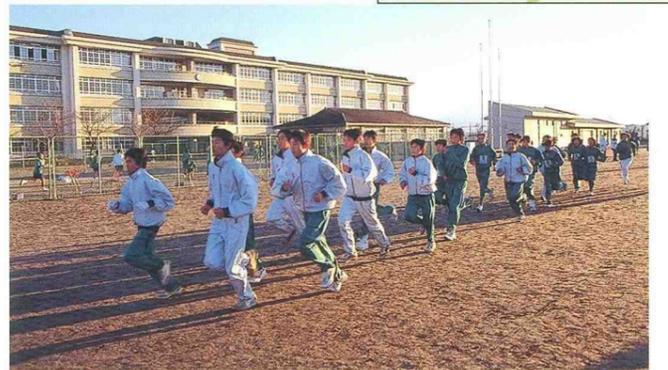
▲小気味良い音が響く



▶練習の成果



▲真剣な目目的を見すえる



▲冬の「朝練」はつらい!

心の安らぐ空間
樹木の緑と水のせせらぎ

鹿児島経済大学教授
中村 明蔵さん



わたしの好きな場所



慈眼寺公園

散策と思索

ほんの少し離れた場所には、車が走っているのに、少しそれただけでこんなに静かな空間が広がっている。そんな場所というのは、近頃はあまりなくなってきましたね。

樹木と水の豊かな空間が広がってリラックスでき、また、自宅や仕事場から近いので、気軽にやってこれるのが魅力です。緑の樹木に囲まれ、水のせせらぎを聞きながら散策すると、自然の中にあることを実感し、時の流れが止まってしまいうような不思議な気持ちになります。心も落ちついて、思索にふけることができますね。

現代人のストレス

文明が発達してくると、都市化が進みます。当然、コンクリートの中で生活することが多くなるわけです。

ところが、そんな場所でも、人は植物を置きたがる。「観葉植物」です。それは家庭でも、職場でも必ず見かけられます。なぜなら「ゆとりのある空間」には、かけがえないものだからです。現代人に必ずつきまとうストレスを和らげるための存在であることを、無意識のうちに私たちは感じているんです。

二〇〇〇年の歩み

二〇〇〇年。その瞬間に、生きているということ。やはり感慨深いですね。なぜなら、二〇〇〇年前の祖先がいたからこそ、今の自分が存在するわけです。今生きている人は、歴史をさかのぼれば、みんなどこかで、つながっているはずだからです。

歴史の流れから見れば、私はその中の一人ではありませんが、自分から見れば、父母、祖父母と限りなく多くの人の関わりによって生きているのです。

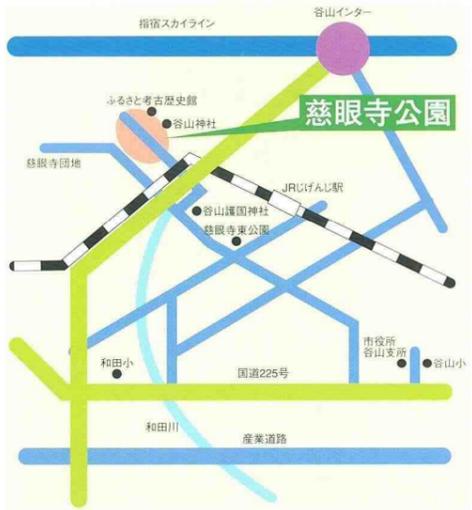
その長い歴史の中で、変わらずにいるもの。それが緑と水です。いつの時代でも人の心に安らぎとゆとりを与えてくれるものです。

★取材メモ

- 高校時代、日本史の授業に興味を持ち、奈良教育大学へ進学。ラ・サール高校、鹿児島女子短期大学で教鞭をとられ、現在は鹿児島経済大学の教授。
- 中村さんは、単人の歴史研究の権威として有名ですが、とても気さくな人柄が印象的でした。
- ゆったりとした語りの中に、ときどきユーモアを交え、少年時代の話や現在の心境など実にいろいろなお話をしてくださいました。
- 「先生」ではなく、「父親」のように。下福元町在住。六十四歳。



緑に囲まれるとほっとしますね

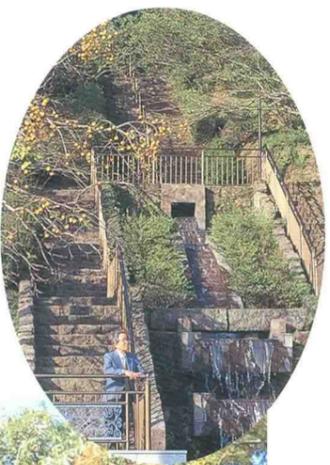


自然への回帰

人間は長い間、緑と水のあるところで生活してきました。それが明治時代以降になって都市化が進み、自給自足をしなくても生活できるようになったのです。

しかし、そのような生活のスタイルは人類の歴史から見れば、ごく最近始まったものでしかありません。

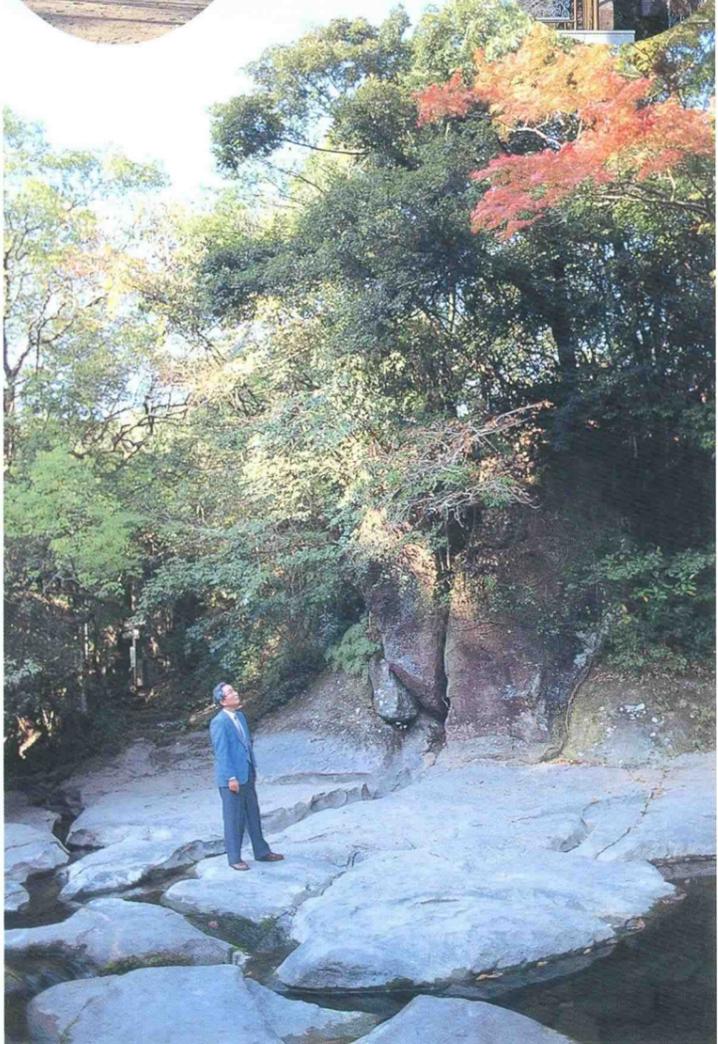
私たちの心の中には、遠い祖先から受け継がれた人間としての本能が息づいているのだと思います。



水の流れを聞きながら



木漏れ日の中をのんびりと歩く



紅葉を眺めて思索にふける

ふるさとの歴史探訪

上町の寺社と祭り

江戸時代の上町は
どのような風景にどんな時が流れていたのか
また上町の人々が情熱をもやした
「お祭り」とはどんなものだったのか

文・田村 省三 Shozo Tamura

玉川大学文学部卒業。
国学院大学文学部・儀礼文化研究所を修める。
昭和60年、尚古集成館学芸員。
平成11年、尚古集成館館長。
現在、市文化財審議会副会長。
主な著書に、「尚古集成館」「島津日新公といは歌」など。



恵比須踊り (尚古集成館蔵「倭文麻環」より)



太鼓踊り (尚古集成館蔵「倭文麻環」より)

上町の寺社

上町は、武家の屋敷町であると同時に、お寺や神社の多いところでした。ところが、明治時代のはじめにあった廃仏毀釈の動きのなかで、しばらくの間ほとんどのお寺がなくなってしまうという一時期がありました。

例えば上町においては、薩摩藩最大の密教寺院であった真言宗の大乗院とその末寺安養院、時宗の浄光明寺、臨済宗の大龍寺、浄土宗の不断光院などです。また、島津家の菩提寺であった曹洞宗の福昌寺もその例外ではありませんでした。現在、大乗院の跡は清水中学校、大龍寺の跡は大龍小学校、福昌寺の跡は玉龍高校の敷地となっていますが、かつては古い歴史を誇る大きなお寺がそこかしこに建てられていたのです。

屋敷町としての上町

しかしながら上町を歩いてみると、まだあちこちに江戸時代の屋敷町をしのぶことのできる古い石塀のつづく通りや史跡が数多くのことされています。例えば清水町に、鹿児島市水道局の仁王堂水源地と呼ばれる施設があります。この場所は、大乗院の仁王門のあった所で、昔からこの湧き水は有名でした。清水町の名もこれに由来しており、今もゆかりの水を市民に供給し続けています。

稲荷神社の流鏝馬

その他、現在では行われなくなったお祭りに、稲荷神社の「流鏝馬」と諏訪神社の「諏訪祭り」があります。このうち流鏝馬は十一月三日のお祭りの行事で、二人の若武者が交互に馬を走らせながら、三つの的に矢を射かけるといふものです。選ばれた少年は流鏝馬と呼ばれ、お祭りの間は常に上座に置かれました。天保年間、藩主島津斉興の帰国に従って鹿児島を訪れた江戸の講談師伊藤凌舎の旅行記『鹿児島ぶり』のなかにも、この行事の様子が記されていますが、流鏝馬は前日の夜稲荷川で身を清めたと記されていて、当時の川の美しい流れがしのべれます。

諏訪神社の諏訪祭り

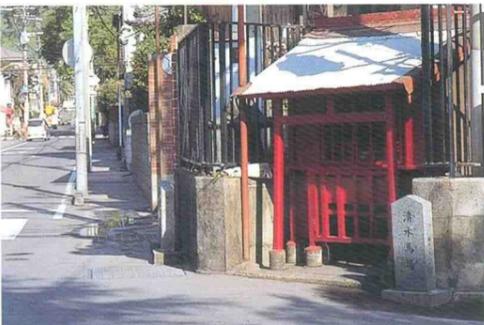
一方、諏訪祭りは七月二十八日の行事でした。こちらも、二人の少年を選んで頭殿と呼び、二カ月近くも精進潔斎してお祭りにのぞみました。このお祭りも大層賑やかなもので、伊敷・吉野・坂元・郡元・桜島などの近在の村々の青年たちが「太鼓踊り」を披露し、上町からは「恵比須踊り」が奉納されました。

このように、江戸時代の上町の人々は、寺院の鐘の音を聞いては一日をおくり、折々のお祭りを見物しながら、季節のうつろいを味わっていたのかもしれない。

鹿児島五社と祭り

また、鹿児島五社と言われ、島津家の信仰のあった五つの神社は全て上町にあります。諏訪神社(南方神社)を筆頭に、八坂神社、稲荷神社、春日神社、若宮神社の各社には、「五社御参詣」と称して、藩主自らが参拝したものでした。そして、鹿児島を代表するような大きなお祭りも行われていました。

今でも夏の盛りに行われる勇壮な「祇園祭り」は、八坂神社のお祭りです。昔は、上町と下町が一年交替で担当したと言われ、祇園祭りの風に吹かれると身が強くなると言って、多くの見物客で賑わいました。



仁王堂水跡 (清水町)



石塀のつづく街並 (南洲門前通り)

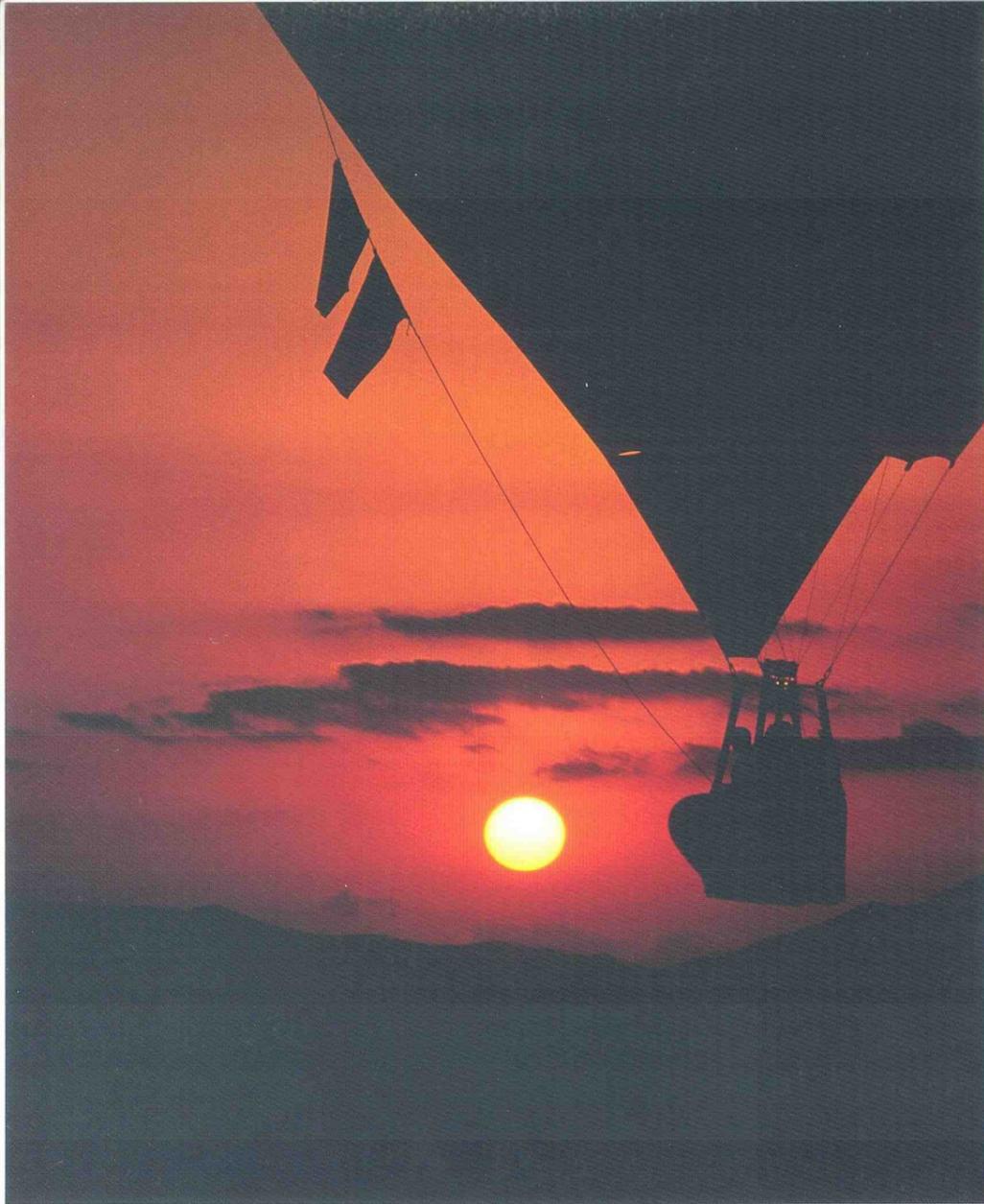
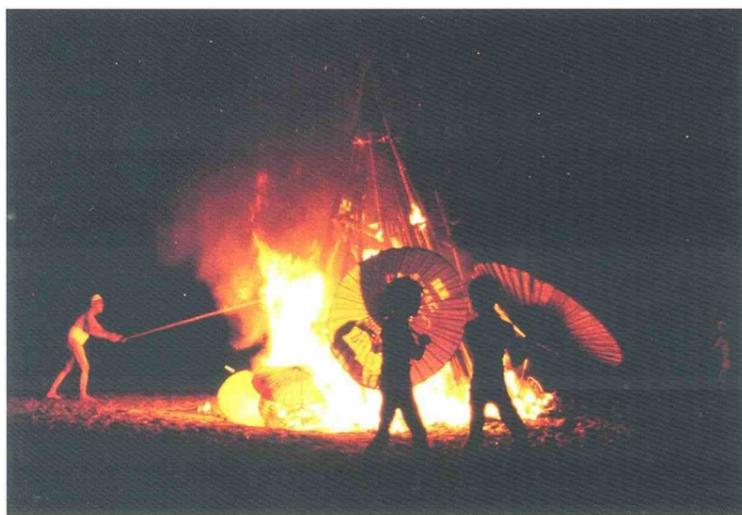
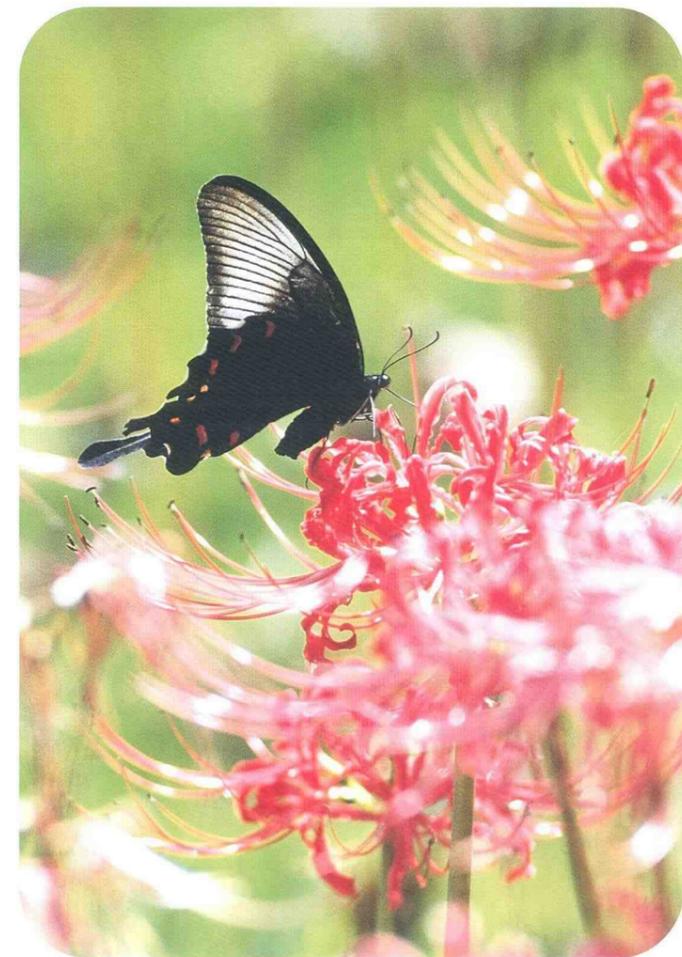


PHOTO SALON

あなたのフォトサロン



「ひかり」
写真 今西 啓介さん



ふかタイム

ワイン・テイステイニング
戸高 恵里さん



ふかタイム 5つの質問

Q1 テイステイニングとは？

A1 ワインの色、香り、味を、目、鼻、舌など五感をフルに使って味わうことです。

Q2 きっかけは？

A2 仕事が、フランス料理の接客だった関係で、ワインのことを知りたかったと思いました。仕事に関係する趣味もいいものですよ。

Q3 ワインの魅力は？

A3 とにかくおいしい。それだけです（笑）。そして、一つ一つが香りが違う。人間みたいに個性を持っているところでしょうか。

Q4 楽しみ方は？

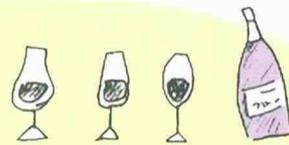
A4 プロではないので、きまりごとを作らずに飲みたい時に飲むというのが、私流です。ただ、ワインの違いとなれば、何種類か並べて比較して飲むが一番です。

A5

Q5 ワンポイント・アドバイスをください。

料理を作る時に、どのワインが合うかを考えると、作るのも、食べるのも楽しい。自分で勝手に記念日を創って、ワイン生活を楽しんでみてはいかがでしょうか。

恵里の テイステイニング 一口メモ



① 色をみる

グラスに 1/4ワインを
そそぎ、電灯に照らして
みる。
く透き通っているのがよい！

② 香りを楽しむ

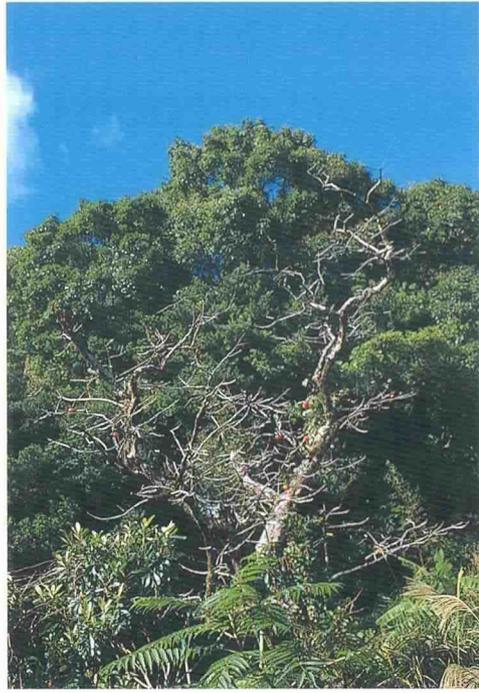
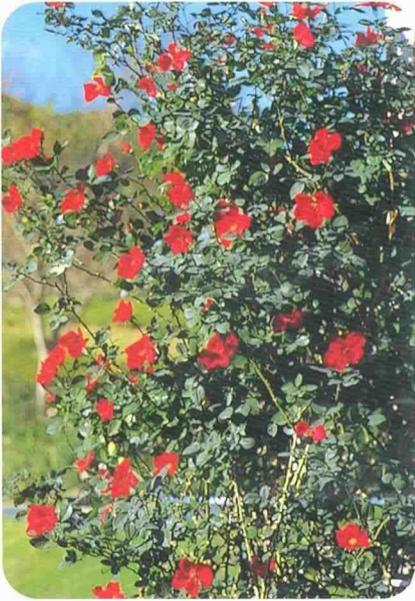
グラスに鼻を近づけ
静かに香りをかぐ。
数回グラスをまわし
もう一度香りをかぐ。

③ 味を確かめる

少量のワインを口に含み
舌の表や硬など口全体
で味を感じる。

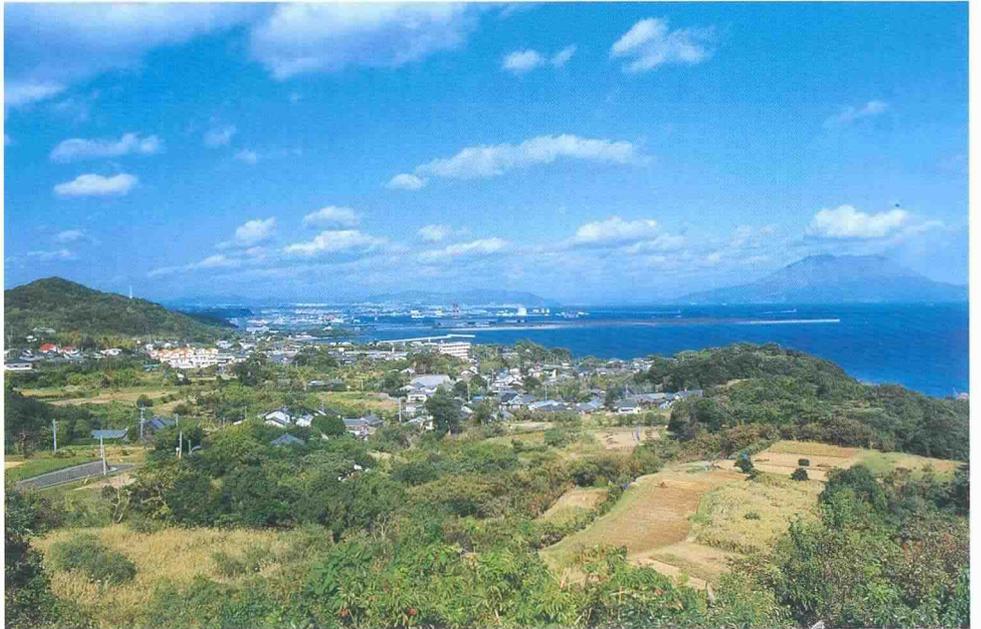
④ 余韻を楽しむ

ワインをゆくりと飲み
鼻からゆくり息を出し
ほのかなワインの香り、
口の中に残るワインの
余韻を楽しむ。



かごしまの
自然

平川にて



ちぎり絵の「あざみ会」は、第二・第四月曜日に松留喜代子先生の指導のもと、熱心に活動しています。「ちぎり絵は難しいですね。でも、繊細さと自分のセンスを大切にしながら作るのが楽しいんですよ」とは代表の平田さん。皆さんで励まし合いながら、作品に取り組んでいます。和紙が生み出す独特のやわらかさをご覧ください。



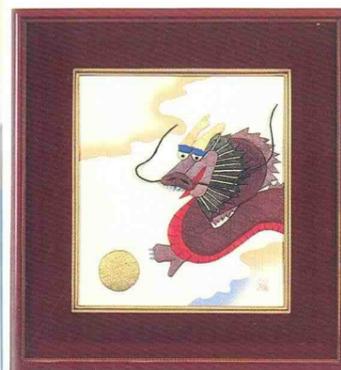
「滝」 岡村ツル子さん



「椿」 小斉平 道子さん



「ふよう」 堀之口 フミエさん



「竜」 中村 奈美子さん



「からすうり」 迫 美代子さん



「もくれん」 鎌田 一郎さん

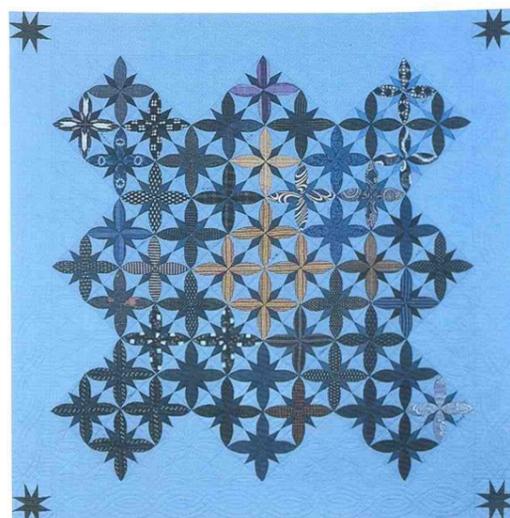
G A L L E R Y

根ギャラリー

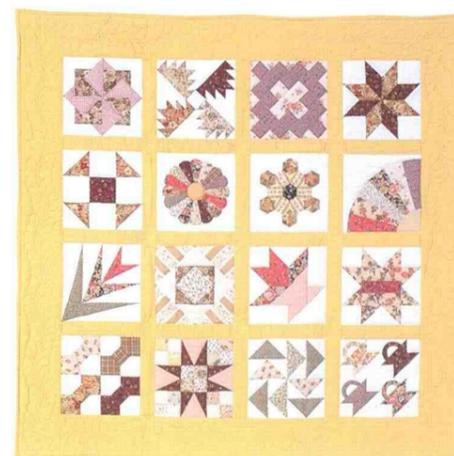
中央公民館自主学習グループ



矢野 明子さん



山下 英子さん



福永 律子さん



今村 悦子さん



富山ハツ子さん

第一・第三土曜日に、パッチワークを楽しむ女性が集まっています。休日のこの時間は、楽しく情報交換をしながら作品に没頭できる、皆さんにとって至福の時でしょうか。作品にもあたたかなログキャビンの居心地の良さが現れているようです。



せきさいかるいしか こうひん
赤彩軽石加工品

軽石加工品は、軽石を削って作られたもので、古代の人々が主に祭祀の道具として使っていました。

写真のものは、草野貝塚から出土したもので縦9cm、幅6.6cm、厚みが2cmあり、真ん中に大きな穴の開いた輪形をしています。横方向に刻まれた溝に赤い顔料が施されているのが特徴で、このことから赤彩軽石加工品と呼ばれています。

この赤い顔料は「ベンガラ」と呼ばれる酸化鉄の赤を利用しています。このような赤色で着色した軽石加工品は全国でもめずらしいものです。

この他、草野貝塚からは、軽石加工品が数多く出土しており、種類も輪形のほかに円形、だ円形、獣形、円盤形、碗形、船形、人形など豊富で、縄文人たちの工夫が見られます。

縄文時代後期（今からおよそ3,500年ほど前）、縄文人たちは活発に活動し、海を越えて沖縄まで交流を広げていました。軽石加工品は、航海の無事を祈る縄文人の海への思いが伝わってくる出土品です。

●草野貝塚

貝塚は、主に昔の人々が食べたものや不要になったものを捨てるごみ捨て場と考えられています。

草野貝塚は、現在の谷山の光山団地付近に広がっていました。昭和55年から57年に市の教育委員会の発掘調査が行われ、大量の出土品が見つっています。

写真の軽石加工品のほか、貝の殻や動物の骨、石でできた矢じりや石斧、イノシシの牙を削って細かい加工を施した釣り針、占いに使われたと見られるクジラの骨など縄文人の生活や精神世界が垣間見えるものが出土しています。

また、ファッションに関するものも出土しています。当時の女性は、サメの歯や骨のかんざしなどで着飾り、男性も腰かざりをしていました。

縄文時代のごみ捨て場は、古代のことを知る、とても貴重な「宝の山」なのかもしれません。

（ふるさと考古歴史館学芸員 古澤 生）

赤彩軽石加工品（草野貝塚出土） 縄文時代後期

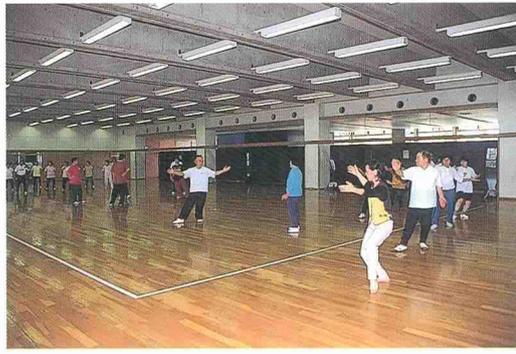
誌上

市営施設見学会

鹿児島アリーナ



真剣なまなざしでスマッシュ! ~サブアリーナ



心身の鍛錬を兼ねた楽しみ方も(太極拳) ~剣道場

スポーツの喜びを誰もが気軽に



国際レベルの試合も観戦できる(ワールドカップバレー'99) ~メインアリーナ

躍動のドラマが生まれ、感動が響きわたる



無理なく、楽しく、体づくり ~トレーニングルーム



噴水をながめながら、のんびりお散歩 ~噴水前

平成4年に開館。市民のスポーツ、レクリエーションの場として、またコンサートやイベントなどにも利用されている多目的な施設です。見るもよし、するもよし、お気軽にご利用ください。

開館時間

8:30~21:00

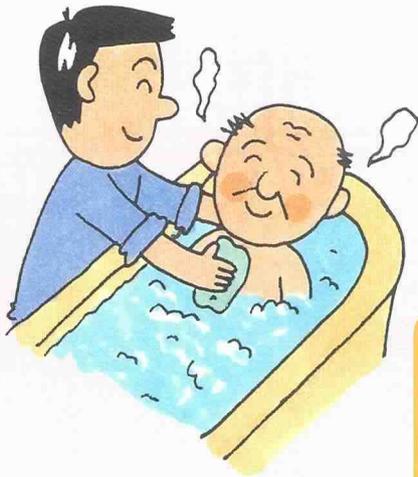
休館日 金曜日

(祝日のときは翌日)

電話 285-2244

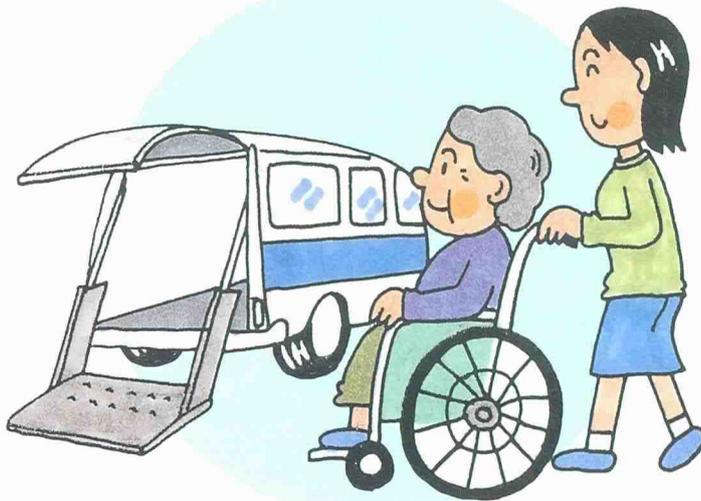
4月1日から介護保険制度が始まります

要介護認定の申請はお済みですか？



介護保険に加入する人(被保険者)は
・65歳以上の人
・40歳以上65歳未満で、医療保険に加入している人です。

介護保険に加入する人(被保険者)で、
介護保険による在宅サービスや、
施設サービスを利用したい人は、
市に要介護認定の申請をしてください。



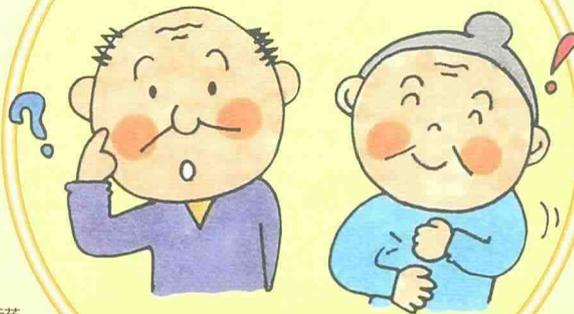
Q

申請はいつまで？

A

現在なんらかの介護
や支援が必要な人で4月
1日からサービスを利用
したい人は、**2月末まで**
に申請してください。

それ以外の場合は、介護
が必要になったときに、いつ
でも申請できます。



Q

申請方法は？

A

本人もしくは家族が
申請できます。また、
在宅介護支援センター
や指定居宅介護支援事
業所、特別養護老人ホ
ームなどに申請を代行
してもらうこともでき
ます。

問い合わせ：介護保険準備室 216-1277